

よみがえりのレシピ 上映会を開催しました

木枯らしの吹く寒い冬も過ぎ、待ち遠しい春がやって来た3月1日、ドキュメンタリー映画「よみがえりのレシピ」の上映会が白河市図書館で行われました。

小雨の降る中約 160 名の参加者があり、会場の椅子が足りないかとハラハラしましたが、ちょうどよい込み具合でした。



渡辺智史監督

こころんでも、「こころや」を始め、農業や食と深いつながりのある事業を中心として、障害者の就労支援事業を展開していますが、食べることと、働くという行為は、単なるお金を稼ぐためではなく体を動かして、それが社会とつながっていて、そして生きるための食べ物とつながっているという当たり前のことが、実は心や体の健康に大きな影響を及ぼしていくものであることを改めて感じさせる映画でした。

この映画では「食べることは、単なる消費ではなく、地域の食文化や環境を守ることにつながる」ことであり、その地域に代々伝わる在来作物の野菜というのは、そこで住む人間と同じようにその地域に一番合った生き物であり、人間と共存して生きるべきものであり、そのことが人間の健康を守り、環境を守るのである。という大きな目的があったということを伝えています。

私たちが子供の頃にはトウモロコシが軒下につるしてあったり、大きなネギ坊主が庭先に干してあったりして、どこの家でも自家採取していたのですが、今回この映画会を開催するにあたり、在来種を探してみましたが、全く見つかりませんでした。たった1代でそのような営みは消滅してしまったようです。

今回は、参加した皆さんに地域野菜をお土産にお配りしました。「西郷在来」という大豆は、戦後、西郷村の川谷という地区に開拓に入った人々が、故郷の山形から持ってきた豆を代々受け継いできたものです。非常に美味しい豆です。

今回は、この映画を製作された渡辺智史監督も会場に来てくださり、1部2部の間にこの映画の説明や、映画に係わった人々について更に詳しくお話頂きました。(熊田)





渡辺智史監督にインタビューをしました！

インタビュー者 **こころんファーム** **今宮**
直売・カフェこころや **根本**



今宮、根本

監督になろうと思ったきっかけは何でしょうか？

渡辺監督

カメラが好きで、写真でお金を稼いで生活しようと考えたが大変！撮ることは好きだったので、監督の仕事にチャレンジすることにしました。

今宮、根本

食物に関する興味は、監督の仕事をはじめた頃からありましたか？

渡辺監督

食物に関しては全くの素人で知りませんでした。撮影中の出来事すべてが新鮮で食への関わりは幸せだと思いました。

今宮、根本

農業や食についての映画を撮るようになったきっかけはなんだったのですか？

渡辺監督

TPP のことが問題にされるようになってから、種のことに興味を持つようになり、調べて行くうちに、巨大産業が種や食べ物を支配するようになってい一方、消えて行ってしまうような在来作物に興味を持ちました。
2010年生物多様性の国際会議が名古屋で開かれたので参加し、生物の営みや環境の問題に非常に興味を持ちました。
そのころアルゲッチャーノが銀座に店を出したことがテレビで放送され、奥田シェフの話聞いてすごく感動しました。それで奥田さんに注目し、映画製作に至りました。

今宮、根本

この映画の特徴は？

渡辺監督

自分は素人で何もわからないから、プロの人なら気づかないような素人目線で、誰にでもわかりやすいように表現できたかなと思っています。

今宮、根本

これからの展望はどんなことですか？

渡辺監督

次は食べ物の『味覚』について考える、題して『味覚のレッスン』を撮影していきます。人間の味覚は10歳までで決まります。子供たちに本物の味を教えるための教材として短編映像「味覚のレッスン」を現在、制作中で、それを使いやすくするためのプログラムツールとセットで貸出しできるようにする予定です。
出前講座をしながらエネルギーの問題や、食べ物や環境を守ることの大切さを人々に伝え、意識を変えるきっかけを作りたいです。

渡辺監督は食物に関して熱い情熱を持った方だとインタビューを通して感じました！
とても気さくな方で、楽しみながらお話をさせて頂く事ができたと思います。(根本)

来場者の声

昔の野菜は個性があったように思います。トマトは青くさい、きゅうりは苦味がある。大根は今より堅く、辛かったような気がします。

万人に合うように改良され、食べ易くはなりましたが、本物が失われたのでしょうか?栄養の成分はどうなのでしょう?何かにつけて利便性に走ってしまった事に気づかされました。(白河市女性)



出会いで人生変わる!食べ物で人生変わる!という言葉信じて、これからは美味しい、嬉しい、そして笑顔でいっぱいの人と人をつなげる場を創っていこうと思っております。

(那須町女性)



なるべく無農薬の野菜を食べているのですが、在来種についてはあまり考えずにおりました。

在来種を守るために働いている方々がいることは、人類にとって大きな宝だと思いました。とても感動して涙が出ました。

(白河市女性・自営業)

大変勉強になりました。野菜の力がこんなにあるのかと驚き、料理の仕方でもいろいろ味が出るのがすごく勉強になりました。

(泉崎村男性、会社員)



野菜の命を守る、共存していくことが大切なことだと初めて知りました。

野菜と寄り添い、共に生きていく…。子供達、次の世代へ伝えていきたいです。(郡山市女性、主婦)



受け継ぐことの大切さと難しさが良く分かりました。

生産者の方々の顔がとても輝いていました。(西郷村女性、主婦)

在来作物の種を守っていくこと。在来作物を活かすこと。と焼畑…。どれも興味をそそられます。

すばらしい映画をありがとうございました。(白河市女性、教師)

少しばかりの家庭菜園も、いろいろ事情があって休耕になっていましたが、映画を観て少し元気が出てきました。

できるだけ始めたいと思います。(泉崎村、女性)



家族の為に新鮮な食材を使って料理をし、健康維持に努めておりますが、生産者の心意気を知り、感激しました。

(白河市女性、主婦)



在来野菜を継承していく大変さに気づきました。

(西郷村男性・農業)



こころやに納めている生産者の方に映画の感想を頂きました。

かぶ、きゅうりなどの野菜を納めている <鈴木源二さん(代筆・ミツ子さん)> 白河市

在来作物 初めて聞きました。

食べてみたくなりましたが、生産者の立場としては、手間、ヒマ大変そうですね!!

豆腐、揚げ物、豆乳などの加工品を納めている<多田豆腐店さん> 白河市

在来食品の良さを改めて知りました。50年以上の前の野菜が思い出され、それを食していた自分達は幸せだったと分かりました。今は見た目が良い物を選んでしまう、私もその一人ですが、こころやさんの目指すものが見えてきました。

これからも頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。

料理酒・日本酒等を納めている<大木代吉本店さん> 矢吹町

この映画は山形の在来種の破滅の危機を継承するために、農業者、料理人、食べる人の三者一体となって支え、協力してゆく過程を丹念に描かれている。地域おこし、地域活性化をする者の想像力をかき立てる映画でもある。

また、これは世代が過去、現在、未来を継承していく大切さを暗示していると思う。品種が絶滅すれば、再び育てることは至難であるからだろう。とても現代の工業的農業に反省、考えさせられるタイムリーな映画でした。

土と 生きる

● ● ● ● ころんファームで働いて変わった自分

ころんの作業内容は、「ころんや」での商品の販売や内職、工房、ファームでの農作業等の様々な作業がありますが、なかでもファームでの農作業というのは、私にとって一番難しいものだと思っていました。その理由の一つは私の抱えているからだの事情がありました。

それはどういう事かといえば、一日の生活の中で定期的に決められた時間に服薬する必要があるという事です。先に述べた他の作業であれば内容の難易度の別はともかくとして、服薬の必要な時間にはスタッフに断りをすれば、近くに水場があって薬を飲むことはできます。しかし、ファームでの仕事に関しては仕事場が外になるので、薬をタイミングよく飲むのは不可能に近いと自分の中で思い込んでいたのです。



↑ 玉ねぎ追肥作業にて

さて本題に入りますが、ファームに入ったことで私が「前の自分」から「今の自分」に変わったことについて書きます。それまで「仕事はスタッフが準備してくれて指導してくれて与えられてするもの」という考え方が自分の中で主流になっていました。ファームに入って一番その違いを感じたのは、「仕事の向こう側には買って下さるお客様がいてお金を支払ってくれるのに、それに見合う仕事を自分は果たしてしているのか」という自分と向き合う初めての体験でした。そのために今自分は何ができるのか、出来ないのか。出来るようになるにはどうすればいいのかを、毎日の仕事の中で自分を省みることを心がけました。

そして、その出来ない部分を开花させてくれたのはスタッフの方たちでした。毎日失敗して駄目な自分だなあと思っていると、ふとした時、スタッフに「それでいいんだよ！」「できるじゃないか。」続けて、「あとは、目の前のことにまず集中！！以上」とはっきりと言って下さいました。

そのことで、考え過ぎていた頭の中が整理され、「自分でもやればできる」という自信を持つことができるようになり、メリハリをつける生活に繋がりました。

まだまだ、日々の生活の中で考え過ぎてしまう事や、頭の中が混乱してしまうことも多いですが、自然の中で仲間と一緒に仕事をして頭の中をうまく整理しながら、日々の生活を送りたいと思っています。

最後に、スタッフの皆さんに教えて頂いたことを今度は、自分が後から入ってきた人に教えられる人になりたいという思いを抱きながら、毎日の仕事を頑張りたいと思います。今、自分の居場所はころんファームです！（今宮智真）



← 畑の準備堆肥まき作業にて

活・動・報・告

泉崎第一小の校長先生がピアカンに来た!!!

2月3日、泉崎村立第一小の芳賀校長先生がこころんへ来てお話をしてくれました。見たところ校長先生は60歳になるとは思えない若々しい人だなと思いました。

校長先生は「みにくいあひるのこ」だったと言っていました。現在は素晴らしい歌声ですが、子供の頃は音痴だったそうです。

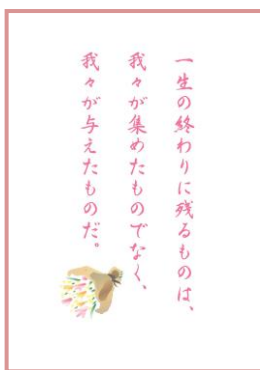
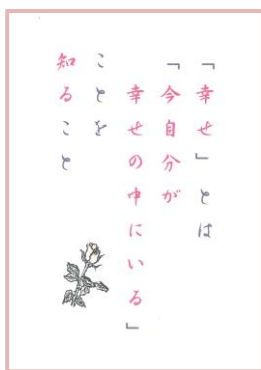
そのお話の仕方が面白く笑ってしまいました。校長先生になったキッカケは、子供の頃プールで溺れてしまって、その時に助けてくれたのが学校の先生で、自分も先生になって恩返しをしたいと言っていました。恩返しをするために…と、なんて純粋なんだろうと感動しました。



校長先生は、いくつか歌詞の載っているコピー用紙を配って下さいました。先生の作った曲や、生徒の作った詩もありました。「ありがとう」という作品が私はとても気に入りました。私も大好きな言葉の一つです。

最後に皆で大きな声で「ふるさと」を歌いました。気持ちよかったです。校長先生のふるさとは南相馬と言っていました。私の母方の実家も南相馬です。何か縁があるような気がしました。

校長先生とお会いできて良かったです。また気軽な気持ちでお話をしに来てくれたら嬉しいです。(K. N)



こころん新年会



こころん新年会といえば「なごみの家」特製のつきたてのお餅。せいろで蒸すからおいしいんです。今年もみんなで「いただきま〜す!!!」

1月12日、中島村の生涯学習センター輝ら里きらりで、こころんの新年会が開催されました。初めて会う人も、なじみの人も一緒になって新年を祝いました。普段こころんの養鶏場で働いている私にとっては、初めて会う人もかなり多く、たいへん良い交流になりました。

趣向をこらしたクイズやビンゴ大会など、おおいに盛り上がりました。中でもビンゴ大会は、数字の代わりに参加者の名前をカードに記入するルールで、お互いが自己紹介し合うきっかけになり、初めて会う人の名前と顔を覚えられて楽しかったと思います。

みんなで今年一年楽しく過ごしていきましょう。(茂美)

だるま市見学

2月のレクレーションで白河だるま市に参加して、初めてのメンバーさんも加わり、去年とは違う楽しみ方が出来ました。班別での行動だったので、皆で動く事は出来なかったけれど、こころんやとなごみの方々の頑張っている姿を見てとても勉強になりました。

また、こころんで昼食に出るなごみのコロッケも、だるま市で食べる方がいつもより美味しく感じられ、だるま市を満喫できました。来年もレクレーションでだるま市見学があったら、また参加したいと思います。(ゆきな)





施設だより ~こころんの各施設の近況をお伝えします

こころん工房●新製品コンクールに参加して



第17回授産施設新製品(商品)コンクールが1月31日(土)飯坂ホテル聚楽で開催されました。こころん工房として平成23年度から参加し、今回で4度目の参加となります。お陰さまで特別賞の福島民報賞を受賞することができました。第14回の民報賞、第15回の金賞に引き続き3度目の受賞となります。

メンバーさん、スタッフの皆さまのご協力のお陰と感謝しています、ありがとうございました。

毎年開催されるこの企画は私達の技術向上の糧となっています。審査員の総評の中で「商品コンセプト、ストーリー性、定番化も大切である」とアドバイスがありました。工房のお菓子も定番化している、パウンドケーキ、チーズケーキ、シフォンケーキなどお客様にご利用して頂いています。

病気と向き合い、自分と向き合う生き方に私達が励まされています。工房が目標としている「就労を通して自己実現を図り、生きる喜びや働く楽しさを味わう」の通り、明日に向かって笑顔のあふれるお菓子作りを目指していきます。

そこで一句

♪皆様の 笑顔思いて 菓子作り♪(早川京子)

●受賞作品●

金賞 = 「立ててみて〜ベコ法師
(卓上スマホスタンド)」
(会津若松市・ハッピーロード)

銀賞 = 会津木綿バッグセット
(伊達市・すずらん工房)

銅賞 = 塩レモンシフォン
(郡山市・ほほえみの間)

福島民報社賞 = 濃厚ガトーショコラ
(泉崎村・社会福祉法人こころん)

福島民友新聞社賞 = 野馬追いマフラータオル
(南相馬市・自立研修所ビーンズ)

活動センター●より良いランドセルの作り方～前ベタの作業

高級ランドセルを製造している会社からの下請け作業をしています。

美しいランドセルを作るために、私たち活動センターの一部の人たちは「前ベタ」という作業をしています。ランドセルは約200種類の部品があり、「前ベタ」はランドセルの中の仕切りになる部品です。

まず、オレンジ色の板に美しい柄のついた前ベタ用のシールを両面に貼り付け、真上の部分に両面テープを貼り、灰色の芯棒を貼り、その上に皮で作られた身付けというシールを貼ります。

この時に肝心なのが、正確さと器用さ、丁寧にシールを貼るという目的、どんなことにも気が付く確かな「目」です。私の仕事は前ベタのチェック(悪い部分がないか)や板数確認なども任されているので、ちょっとしたこともスタッフに相談しながら、良いものと悪いものに振り分け、最終チェックをしています。こういった仕事を通して、楽しくしながら、ランドセルの部品を作っています。

私たちは、より良い、安全なランドセルを子供たちに届けるため、今日も一日、向上心を持って前ベタを作っています。(Satomi)



前ベタ (左: 作業前 右: 完成品)



商品タグのセットや付属品の袋詰めなどの作業もしています

こころや●カフェによろこそ

カフェの一日は朝の惣菜作りから始まります。出来上がった惣菜はパック詰めされ、こころやの店頭並び商品となって販売されます。調理担当スタッフが出来上がった惣菜の入った鍋をカウンターへ置くと、朝から出勤している利用者を中心に、パック詰めから品出しまで一連の作業を手際よく行ってくれます。

8時頃から始まった惣菜作業が一段落する10時頃には、「おはようございます！」の声があちこちで聞こえ始めます。送迎車で出勤するみんなが加わり、賑やかな雰囲気になってきます。

惣菜調理で出た器具類の洗い物から片づけまでを皆で済ませると朝礼の時間です。こころや直売フロアのみんなと一緒に連絡事項などの情報共有、当日の体調確認、職場の基本用語の唱和を行います。“ちょっとまだエンジンのかからない”人もここで仕事モードにチェンジ！



朝礼後はおおよそ2班に分かれ、野菜切りなど翌日の惣菜仕込みチームと、味噌汁作りやコーヒー準備チームに分かれて作業を続けます。スタッフは本日のランチ準備にとりかかり、全員が仕事に集中する時間帯になります。

11時からはランチタイムが始まります。丁寧に淹れるコーヒーの香りに包まれ、利用者さんのお惣菜作りもすっかり堂に入り、手作りの餃子やシューマイ、春巻きなどを手際よく作っていると、「おいしそうね」とその場でご購入くださるお客様もいる程です。

ここでメニューに少し触れます。昨年4月から始めたサラダバイキング。おかわりはもちろん、誰のトマト？と質問があったりと、お客様とのコミュニケーションも増え好評です。「ふくらボ」など情報誌で紹介されること多いドライカレー、おなじみの気まぐれランチなど定番料理も季節感を大事にした食材を選ぶよう心がけています。

季節の果物を使ったデザートも季節毎に変え、今の時期は甘い冬人参のスムージー、広島の特産栽培オレンジと旬の苺を添えたこころん工房のガトーショコラ、リンゴをたっぷり味わえるタルトタンなど提供しています。新メニューを出す前の試食タイムも和やかなひとときです。みなさん気軽に覗いてみてください！(石井)



なごみの家●あったか～いんだから～♪

毎朝、なごみの家の調理場がじゃがいもを蒸す真っ白な湯気に包まれます。コロッケを揚げ始めるとその匂いに誘われて、常連のお客様が揚げたてを買いに来ます。といってもこの常連さんは、なごみの家に通うメンバーやスタッフですが。

「揚げたては、最高～ おいしいなあ」と出来たてをほおぼります。

「コロッケ食べた人は、良く手を洗ってから作業してよ」の注意が飛びます。

内職が始まる頃、お弁当が出来上がりまた常連さんからの注文が入ります。

他愛もないおしゃべりをしながらの内職作業。ベテランが若者たちを温かい目で見守り、時には指導。約束の時間までに内職をきっちりと仕上げ納品します。

「終わったあ」「ありがとう」「お疲れ様」 チームプレーの成果。毎日繰り返される光景です。なごみの家は、「♪♪～あったかいんだからあ～♪♪」

昨年のこころんスペシャル交流会の当事者発表で、夢大賞をいただいた「居心地のいい なごみの家老人施設化計画」を、揚げたてコロッケを食べながら一緒に練りましょう。

「なごみの家へ いらっしゃ～い」

コロッケは、要予約でお願いします。(小林紀子)



日本財団様より車両の助成をいただきました

平成 26 年度日本財団助成事業の助成金を受けた 2 台の車が納車になりました。

バン(ホンダアクティ)は商品の納品に、乗用車(ホンダNワゴン)はヘルパーステーションで居宅訪問や通院同行に使わせていただきます。

日本財団様に心よりお礼申し上げます。



ヘルパー車は、広くてとっても快適!



荷台に荷物がたっぷり積めて納品に便利です。

矢吹授産場さんに、エプロンを作ってもらいました!

「こころや」やイベント販売などで使用するエプロンを、「ふくしまの恵みPR事業」の助成をいただき、新調しました。製作は、白衣やエプロンなどの縫製作業をしている「社会福祉法人矢吹厚生事業所(矢吹授産場)」さんにお願ひしました。

「洗いやすくて、乾きやすい」「リボン結びの必要がないベルト式」「胸ポケットにペンが3本入る」など、多くのリクエストに対応していただいて完成した新しいエプロン。使い易くておしゃれだと好評です。

矢吹授産場のみなさん、ありがとうございました。



無理やりペンを4本入れてます。



ポケットに cocoroya のロゴ入り!

■□■こころん後援会にご入会ください■□■

社会福祉法人こころんは、障がいのある人びとが、地域の中で安心して生活できるよう、「障がいのある人も無い人も安心して暮らせる地域作り」を目指しています。こころんの活動に賛同しご協力頂ける会員を募集しています。会費は無料です。ぜひご入会下さい。

*会員について

この会に賛同する個人及び団体または事業所を対象とします。

会員の皆さまには会報をお届けします。

各種行事等のご案内を差し上げます。(行事に、ボランティアで参加することもできます。)

活動報告	今後の予定
1月 10日 こころや新年大売出し	4月 1日 こころん創立記念日
1月 12日 こころん新年会 at 中島村輝ら里	4月 11日 こころや：手作りパン教室
2月 3日 ピアカウンセリング (ゲスト：泉崎一小的芳賀校長先生) 豆まき&福茶	4月 17日 レクレーション：花見(開花により日程変更あり)
2月 11日 白河だるま市出店(こころや・なごみの家) レクレーション：だるま市見学(活動センター)	4月 18日 泉崎村さくらウォーク出店(こころや)
3月 1日 映画上映会 at 白河図書館 (よみがえりのレシピ上映・講演会)	4月 21日 就業セミナー
3月 16~17日 こころや彼岸セール	4月 26日 こころん親の会
	6月 25 精神保健福祉士全国大会： ~27日 施設商品販売ブース出店(こころや)
	■編集委員■
	佐藤栄一 小林茂美 小野崎浩二 今宮智真
	穂積浩江 根本翔太 高澤宣彦 植木千花